

図40 4号流路跡遺物集中域1出土遺物(6)

研磨痕が認められる。12の表面の穿孔は、上端が幅広となる。14の側縁には、部分的に稜が認められる。15は多方向からの単位が細かい研磨痕が認められる。17はわずかに歪み、側面には縦方向の稜が顕著に認められる。18は表面の研磨痕が深く、密に認められる。裏面は中央のみ研磨が稀薄となる。19の表面の上側縁には、横方向の直線的な稜が認められる。20はわずかに角ばり、周縁に稜が認められる。

図40-1の研磨は浅く、裏面は多方向から認められる。2は中央が厚く、側縁はわずかに薄くなり、断面形はレンズ形となる。3の側面には、縦方向の稜が多く認められる。4は裏面の下側縁に横方向の稜が認められる。5は表面の斜め下付近に、工具による連続した整形痕が認められる。6は表面の左側縁に、深さ1mmの盲孔が1箇所認められる。側面には、明確な縦方向の稜が認められる。7の表裏面には、浅い研磨が認められる。8は表面の右側縁に、工具による整形痕が認められる。側面には、縦や斜め、横方向の稜が認められる。9の表裏面には、幅広で深い研磨が認められる。10は側面の研磨が縦方向で、細く密に認められる。11は薄く整形され、側面には縦方向の

研磨が認められる。12は表面の左側縁に、稜が認められる。13の裏面には、深い線状痕が認められる。14はやや不整形で、表面の右側縁に研磨より古い工具痕が認められる。17は表面の中央に、研磨より新しい幅約4mm、断面形が半円形の工具痕が認められる。側面の稜は明確で、細かい研磨が密に認められる。18は裏面の右側縁に、研磨より古い工具痕が認められる。19は穿孔の径が3～5mmと大きく、穿孔間の幅は4.5mmと狭い。20は表面の周縁に、明確な稜が認められる。22は左側縁が欠損している。表面の周縁には、稜が認められる。23は右半部が欠損している。表裏面には、同一方向からの研磨が認められる。24は下半部が欠損している。表面には、多方向からの研磨が認められる。25は下半部が欠損している。表裏面には、同一方向からの研磨が認められる。

図41-1～26、図42-1～6は楕円形を基調としている。穿孔は左右の両側縁に近接して2箇所認められ、側面に面を持つ。

図41-1は表面の右側穿孔の下に、盲孔が1箇所認められる。中央に厚みがあり、断面形はレンズ形となる。2の表面には、斜方向の稜が認められ、そこを境に研磨の方向が異なる。裏面の周縁には、稜が認められる。3は表面の下側縁に横方向の稜が認められる。4は不整な楕円形である。表面の下側縁には、直線的な稜が認められる。5は中央から周縁に向かいわずかに反る。6の側面には、縦や斜め方向の稜が認められる。7は裏面中央の研磨が希薄となる。9の表面には、深い研磨が認められる。上側面には、微細な凹凸が顕著に認められる。10の表面には、多方向からの研磨が認められる。11は中央が厚く、側縁に向かい薄くなり、断面形はレンズ形となる。裏面の周縁には多方向の研磨が認められ、中央は稀薄となる。12は表面の周縁に、稜が認められる。側面には、縦方向の稜が認められる。13の表面には4方向の研磨が認められ、中央は稀薄となる。14は中央が厚く、側縁に向かい薄くなり、断面形はレンズ形となる。15は表面の上側縁に、研磨による稜が認められる。17の表面には、多方向からの研磨が認められる。18は下側縁が厚く、上側縁に向かい薄くなる。20は、表裏面の周縁に稜が認められる。21は、表面の周縁に稜が認められる。側面には、縦方向の稜と研磨が認められる。22は円形に近く、裏面には、多方向からの研磨がまばらに認められる。

図41-23～26は長辺が直線的な隅丸長方形を基調とする。23の表面には、通常の研磨とは異なる深い研磨が斜め方向に認められる。25は中央が厚く、周縁に向かいわずかに薄くなる。側面には、多方向の稜が顕著に認められる。26の表裏面には、研磨に前後する凹凸が認められる。裏面の右側縁には、研磨による稜が認められる。

図42-1～6は、一部が欠損しているが不整な楕円形とみられるものである。1は左上半部が欠損している。表面の左側縁に厚みをもつ。2は左下半部が欠損している。裏面には、横方向の深い研磨が密に認められる。3は左側縁の一部が欠損している。長辺を基準に正置した場合、2箇所の穿孔間が斜めとなる。6は左側縁が欠損している。表面には多方向からの研磨が認められる。

図42-7～9は隅丸長方形を基調とする。いずれも、四隅に面取り状の加工がされている。7は表面の左側穿孔下部に、工具による整形の痕跡が認められる。8の周縁は、直線的に整形されてい



図41 4号流路跡遺物集中域1出土遺物(7)

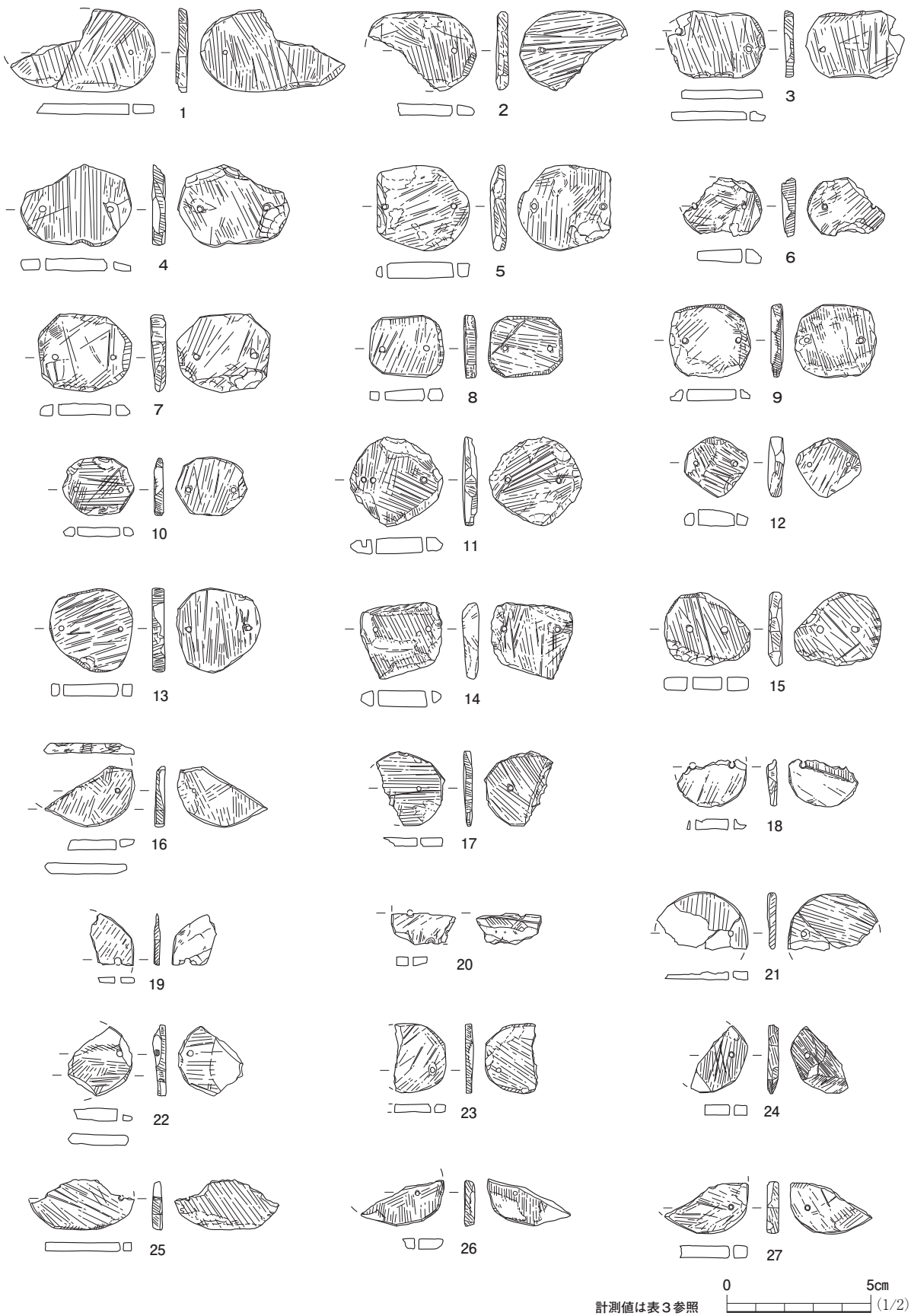


図42 4号流路跡遺物集中域1出土遺物(8)

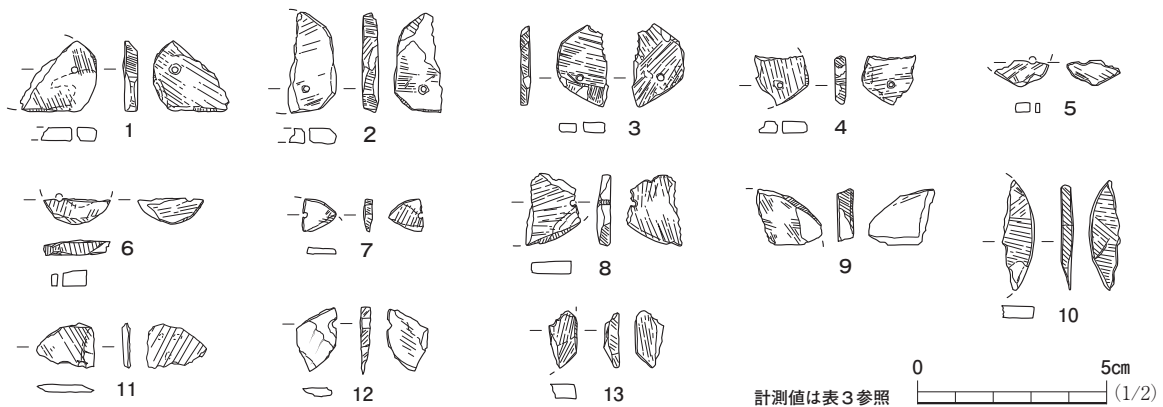


図43 4号流路跡遺物集中域1出土遺物（9）

る。9は表裏面ともに中央部の研磨が稀薄となる。

図42-10は六角形を基調とする。表面の周縁には、稜が認められる。

図42-11・12は菱形を基調とする。11は表面の左側穿孔の脇に、盲孔が1箇所認められる。表面には、多方向からの研磨が施されている。12の表面には、研磨により形成されたとみられる斜め方向の稜が認められる。

図42-13～15は不整形となる。13は縦長の不整な楕円形となる。側面には、縦方向の稜と研磨が明瞭に認められる。14は上側縁が水平で、下半部は鋭角となる不整な四角形を基調とする。左側面には研磨が無く、微細な凹凸が顕著に認められる。15は、下側縁が平坦で上側縁が大きく歪む、不整な楕円形となる。裏面の右側縁には、工具痕とみられる連続した幅広の線状痕が認められる。

図42-16・17は破損後に再調整を行っている。16は左上半部が欠損している。欠損した部分の破断面には、わずかに研磨が認められる。17は左半部が欠損している。破断面にはわずかに研磨が認められる。

図42-18～27、図43-1～13は有孔円板とみられるが、欠損しており形態の判別が付かないものである。図42-18は、裏面の中央に工具の痕跡が明瞭に認められる。19は非常に薄く、裏面には研磨がほとんど無く、凹凸が顕著に認められる。薄く板状に剥離した有孔円板の裏面を、研磨により再調整した可能性がある。20は裏面の周縁に、研磨した面より新しい剥離が認められる。また剥離は部分的に再度、研磨されている。21は取上げNo.12と19が接合した。表裏面ともに単一方向からの研磨が認められる。22は裏面の中央に、弧状の稜が認められる。24は側面に、斜めや横方向の研磨が認められる。25は裏面の下側縁に、研磨より古いくぼみが認められる。26は裏面に、研磨より古いくぼみが認められる。27は裏面の下側縁に、工具の痕跡が認められる。

図43-1は表裏面に、単一方向からの研磨が認められる。2～4は下側縁付近に穿孔が認められる。2の裏面は、研磨が不徹底で凹凸が目立つ。5は小型とみられ、穿孔部分で破断している。6は表面の下側縁に、稜が認められる。7は裏面が研磨により、わずかにくぼんでいる。9の裏面は、研磨がほとんど無く、凹凸が認められる。10は、側面に縦方向の稜が認められ、研磨は斜め方向となる。12は板状に剥離しており、表面は単独の剥離面となる。裏面の中央には、わずかに

研磨が認められる。13は、表面の下側縁に稜が認められる。

剣形 図44-1～20は石製模造品の剣形である。1～7の表面には、「Y」字形、8には「I」字形の鏝が表現され、裏面には認められない。鏝で区画された箇所ごとの研磨方向は、それぞれ異なる。1・2・4～8の基部中央には、穿孔が1箇所認められる。基部の形態は1～3が湾曲し、4～8は台形を基調とする。1は裏面の周縁に稜が認められる。側面は、面取り状に整形されている。2は表面の基部右側に、密な研磨が認められる。側面は、端部に向けて鋭利な稜が整形されている。3の基部付近には、対に2箇所の穿孔が認められる。表面の基部には、深い工具の痕

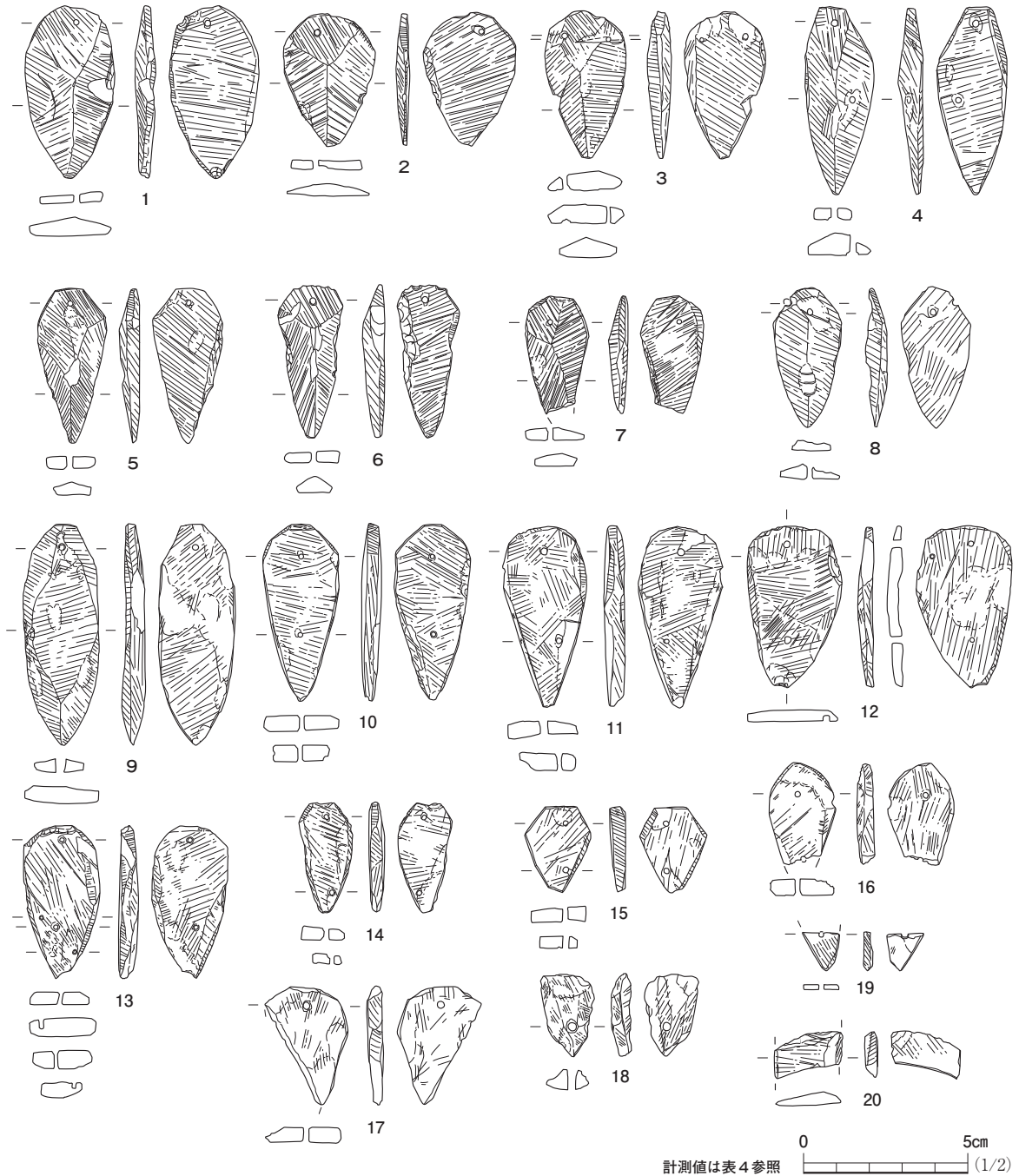


図44 4号流跡遺物集中域1出土遺物 (10)

跡が認められる。側面は、面取り状に整形され、裏面の左側縁の一部には稜が認められる。4の基部は、上端に向かい緩やかに反っている。刃部の鑄より右側に、穿孔が1箇所認められる。側面は基部は面取り状に、刃部は鋭利な稜が整形されている。5の鑄は左右非対称で、右側が基部と刃部の境から、左側が刃部から作出される。表裏面の一部には、浅いくぼみが認められる。側面は面取り状に整形され、裏面の刃部右側縁には稜が認められる。6は研磨が深く、密に認められる。側面は面取り状に整形される。7の刃部下端は、欠損している。鑄は左右非対称で、右側が基部の中央付近から、左側が基部と刃部の境から作出される。裏面の左側縁には、研磨より古い剥離が認められる。側面は面取り状に整形される。8は基部の左側縁に、1箇所の穿孔が認められ、そこから破断している。表面の刃部中央には、連続した工具痕が認められる。裏面は、上下端部に向け反っている。側面は面取り状に整形され、刃部には稜が認められる。9の鑄は、縦長の菱形となる。裏面は、上下端部に向けわずかに反っている。側面は面取り状に整形される。10～16は鑄が無く、穿孔は上下の2箇所を基調とする。側面は面取り状に整形される。10は表面の側縁に、稜が認められる。11の表面には、多方向の短い研磨が認められる。12は裏面の左端部に、盲孔が1箇所で認められる。表面には多方向からの研磨により、わずかに稜が形成されている。13の表面の下半には、盲孔が2箇所で認められる。裏面の刃部には、わずかに「Y」字形の稜が認められ、鑄を意識した痕跡の可能性がある。14の表面の両側縁には、稜が認められる。15は基部が明確な台形となり、刃部側の穿孔が右側縁に接している。16は下端が欠損している。表面は研磨が不十分で、側縁付近にはくぼみが顕著に認められる。17は左下部が欠損しており、形態が不明瞭で、楕円形の有孔円板の可能性もある。裏面には、多方向の短い研磨が認められる。18は稜が明確に認められ、研磨は不十分である。刃部中央には、穿孔が1箇所で認められる。19は刃部の下端のみ遺存している。裏面は剥離時の凹凸が認められる。20は刃部の中ほどのみ遺存している。表面には、鑄とみられる稜が認められる。表面の上端の欠損した部分には、わずかに研磨が認められ、再調整を試みた可能性がある。

白 玉 図46～49は石製の白玉である。白玉について、以下のように形態分類を行った。

I類：直径と側面長が同程度で、側面が直線的なもの。円筒形で端部を面取りしないものをI a類、円筒形で端部を面取りするものをI b類、円錐台のものをI c類とした。

II類：直径と側面長が同程度で、側面に稜を持つもの。

III類：直径が側面長の倍程度ある、平玉状のもの。

IV類：側面長が直径の倍程度ある、管玉状のもの。

V類：不整形で分類不可能なものや、破損品など。

図46-1～89、図47-1～17は白玉I a類である。図46-1～77は、側面に斜め方向の研磨が認められる。6の表面には、線状のくぼみが認められ

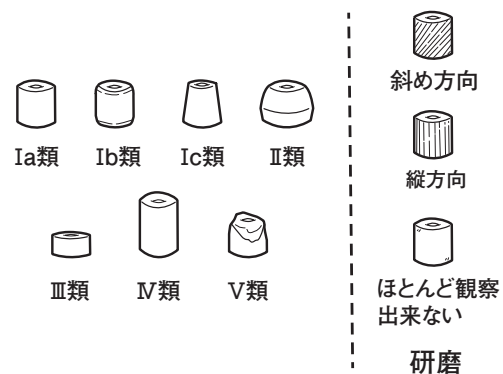


図45 本遺跡出土白玉分類

る。9は楕円形で、穿孔は中心からわずかに左側に寄っている。18の表面には、多方向からの研磨が認められる。19は穿孔径が大きく、一部が破損している。22の側面は、研磨が徹底されず、縦方向の稜が認められる。32の表裏面は、丁寧な研磨により平坦に整形されている。33の表面には、深い研磨痕が認められる。36の穿孔は楕円形となる。41の表面の穿孔は側縁に近く、一部は破断している。43は白玉の径に対し、穿孔径が大きい。45の表裏面や側面には、細かい研磨が認められる。46の穿孔は、不整な五角形となる。47の裏面はわずかに凹凸が認められる。52は穿孔が右側縁に寄っている。裏面に研磨は認められず、凹凸が顕著に認められる。55の側面には、細かい研磨が密に認められる。58の裏面は中央の穿孔に向け、緩やかにくぼんでいる。63の表面は、左側縁に向けて傾斜している。67の表面には線状のくぼみが認められる。71の表面は、右側縁に向けて傾斜している。73の表面は凹凸が認められる。側面は摩耗し、研磨はわずかに確認できる。75の裏面の穿孔周縁には、細かな凹凸が認められる。

図46-78~89は、側面に縦方向の研磨が認められる。78は表面の研磨がまばらで、わずかに凹凸が認められる。79の表裏面には丁寧な研磨が認められ、平坦に整形されている。84は不整な円形で、穿孔はわずかに左側縁に寄る。

図47-1~17は側面の研磨が観察できないあるいは、わずかに認められる。1は表面の研磨が無く、凹凸が認められる。穿孔は表方向から、斜めに施されている。3の表面は右側縁に向けて傾斜している。7の表面の穿孔周縁には、細かな凹凸が認められる。12の表面は研磨が認められず、細かい凹凸が認められる。16の表裏面はわずかに歪んでいる。17は不整な円形で、穿孔が右側縁に近接している。

図47-18~77はI b類である。18~60には、側面に斜め方向の研磨が認められる。18の表面には、線状のくぼみが認められる。表裏面ともに丁寧な研磨が認められる。20の表面の穿孔周縁には、細かい凹凸が認められる。35の表面は、右側縁に向かい傾斜している。40の裏面は、左側縁に向かい傾斜している。43の表面には線状のくぼみが認められる。48の表面は、右側縁に向かい傾斜している。53は側面が斜めに傾斜している。白玉の径に対し、穿孔の径が大きい。58の表面は、右側縁に向けてわずかに傾斜している。

図47-61~71は、側面に縦方向の研磨が認められる。65の表面は、上側縁に向かい傾斜している。71の側面は長く、上側縁には明確な稜が認められる。図47-72~77は、側面の研磨が観察できないあるいは、わずかにしか認められない。73の表面には、研磨より古いくぼみが認められる。

図47-78~89、図48-1~19はI c類で、側面には斜め方向の研磨が認められる。図47-89は不整な円形で、表裏面には凹凸が顕著に認められる。図48-4の表面は、下側縁に向かい緩やかに傾斜している。8は白玉の径に対し、穿孔の径が大きい。12の表面は、右側縁に向かい傾斜している。15の表面は右側縁に、研磨より新しい工具痕が認められる。

図48-20~51はII類である。20の側面の研磨は、稜を境に上は斜め、下は縦方向となる。24の側面には、研磨より古い工具の痕跡が認められる。27は白玉の径に対し、穿孔の径が大きく、器



図46 4号流路跡遺物集中域1出土遺物(11)

壁は非常に薄い。側面にある稜の周辺には、研磨が認められない。32の側面には、研磨より古いくぼみが認められる。38の側面にある稜の周辺には、研磨は認められない。40は側面の上下端部が、丸く整形されている。45の表面は、右側縁に向かい傾斜している。46は側面の稜を境として、研磨の方向が異なる。

図48-52~91はⅢ類である。52~76の側面には、斜め方向の研磨が認められる。53の穿孔は不整な円形となり、側面の上下端部は丸く整形されている。54の裏面は丁寧な研磨により、平坦に整形されている。側面の稜はわずかに確認できる。60の側面は台形となる。63は上半部が欠損している。表面に研磨は認められず、凹凸が認められる。白玉の径も他と比べて大きいことから、未成品の可能性も想定される。70の表面には、線状のくぼみが認められる。75の表面は右側縁に

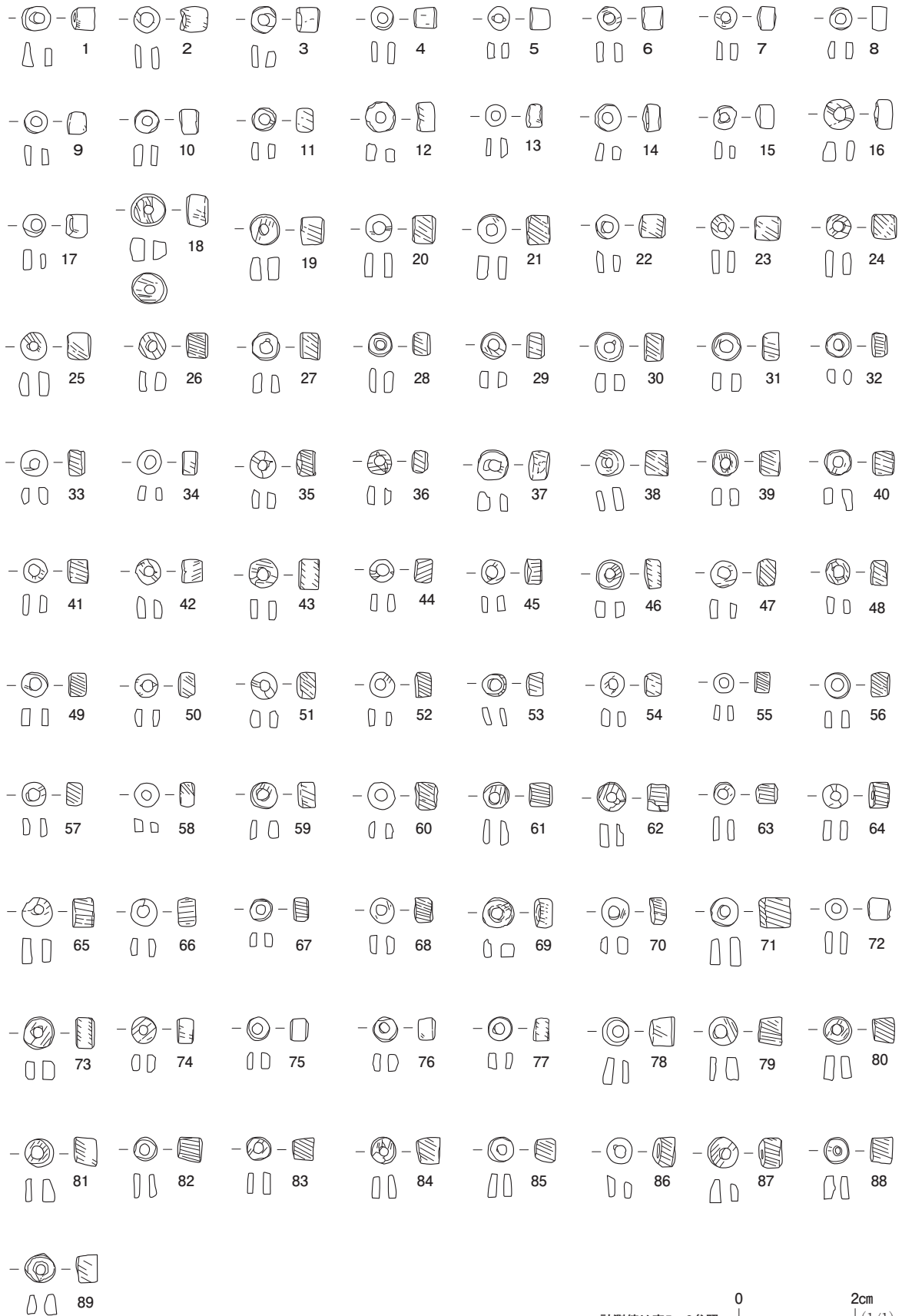


図47 4号流路跡遺物集中域1出土遺物 (12)

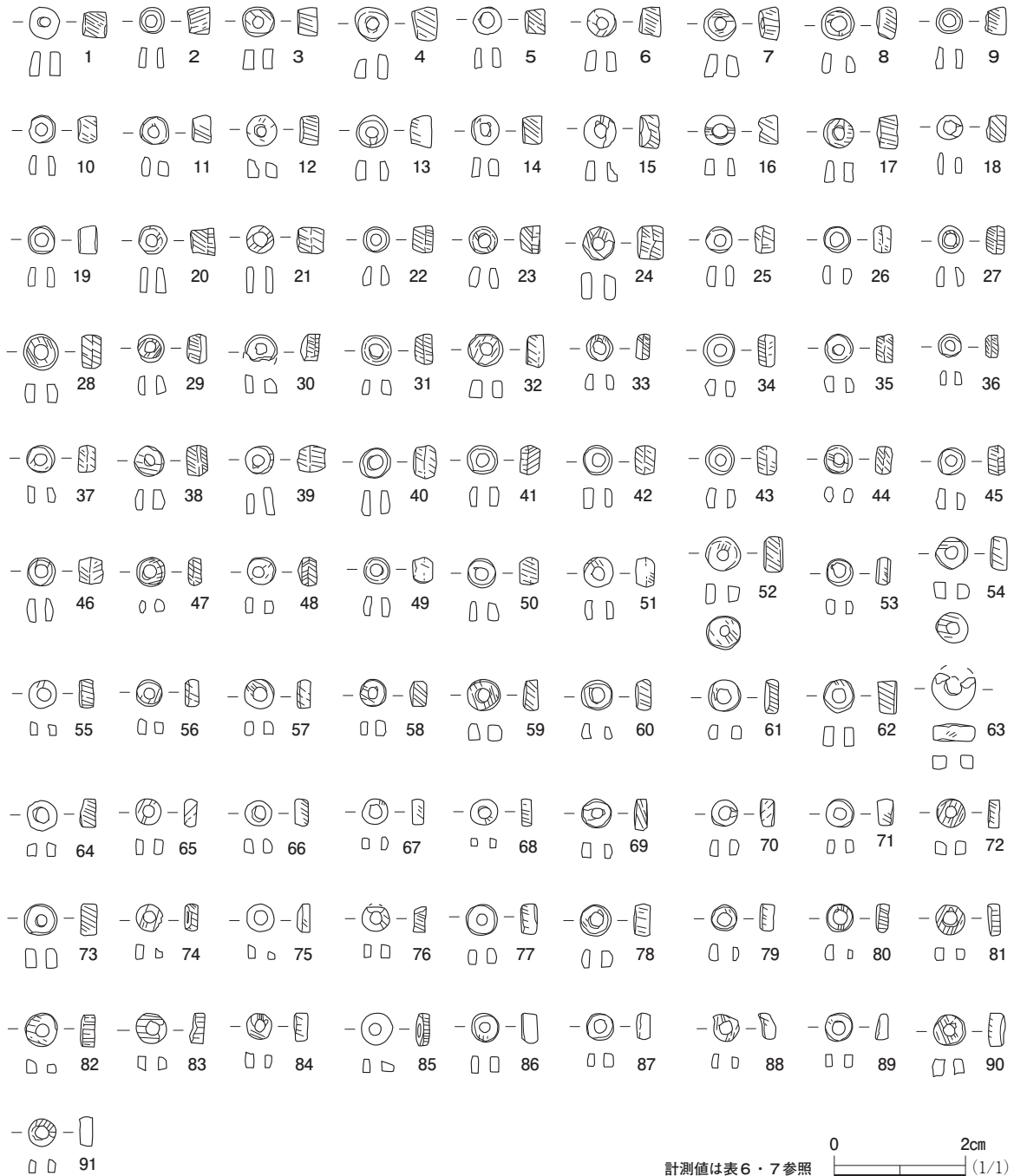


図48 4号流路跡遺物集中域1出土遺物 (13)

向かい緩やかに傾斜している。77～85の側面には、縦方向の研磨が認められる。79は白玉の径に対し、穿孔の径が大きく、器壁が薄い。84の表面には、研磨より新しい線状のくぼみが認められる。86～91の側面には研磨が観察できないあるいは、わずかにしか認められない。89の表面は、上側縁に向かい傾斜している。90の表面には丁寧な研磨が認められ、裏面には研磨より古いくぼみが、わずかに認められる。

図49-1～4はIV類である。1の表面は、右側縁に向かい緩やかに傾斜している。側面には横方向の稜がわずかに認められる。側面には、多方向からの研磨が認められる。3の表面は一部に研

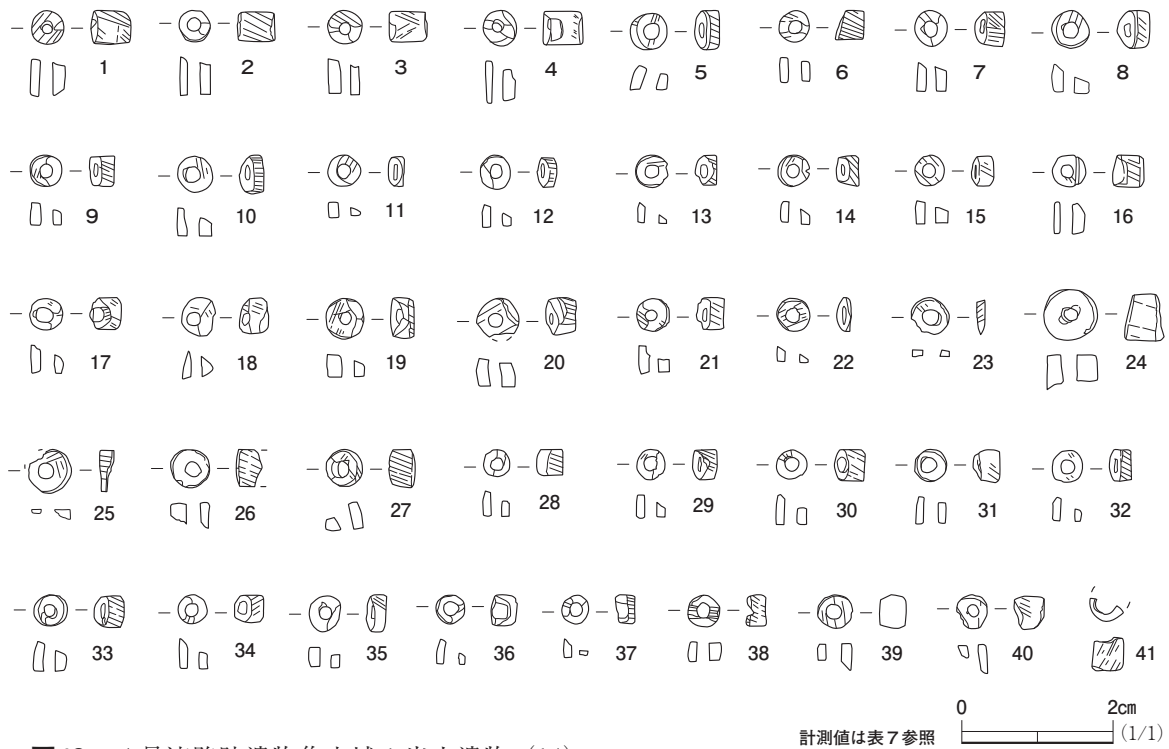


図49 4号流路跡遺物集中域1出土遺物 (14)

磨が施されるが、大部分で微細な凹凸が認められる。4の右側面には、工具痕が認められる。

図49-5~41はV類とした。5~23は表面を意図的に傾斜させている。16の右側面は工具痕が認められる。17の側面には、縦方向の稜が認められる。18は表面の穿孔から右側縁にかけて、著しく傾斜している。22・23は、厚さが2mm以下と非常に薄い。24~41は部分的に欠損し、遺存状況が悪い。24は、ほかと比べ直径が大きく厚みを持つことから、未成品の可能性はある。

未成品 図50-1~21は石製模造品・白玉の種別が把握できる未成品である。図50-1は有孔円板で、穿孔が認められないことから未成品とした。右側縁から左側縁に向かって緩やかに傾斜している。側面には、多方向の稜が認められる。

図50-2~6は剣形の未成品である。2は下半が逆三角形となり、上半は台形となり、剣形の基部を意識した成形がなされている。表裏面には研磨が認められ、周縁にはこれより古い剥離が認められる。表面の基部側には、穿孔を意識した楕円形のくぼみが認められる。側面は、連続した剥離調整により鋭い稜が形成されている。3は下端が鋭角な逆三角形となり、表裏面は平坦である。表面には丁寧な研磨が認められ、左側縁には稜が整形されている。裏面は、研磨より古いくぼみや剥離が認められる。4は細長く、下半が鋭角な逆三角形となる。薄い板状の剥片を素材とし、側縁に連続した剥離調整を加えながら整形している。上端は不整形で、基部を整形する前段階とみられる。基部中央には、穿孔が1箇所認められる。表面の中央付近や左右側縁、裏面の右側縁には、光沢が認められる。側面には、剥離調整により稜が認められる。5は上半が鋭角な三角形となり、下半は緩やかに湾曲し、端部は平坦となる。薄い板状の剥片を素材としている。基部中央には、穿孔が1箇所認められる。表裏面には、光沢が認められる。6は細長く、下半に向け緩やかに湾曲して

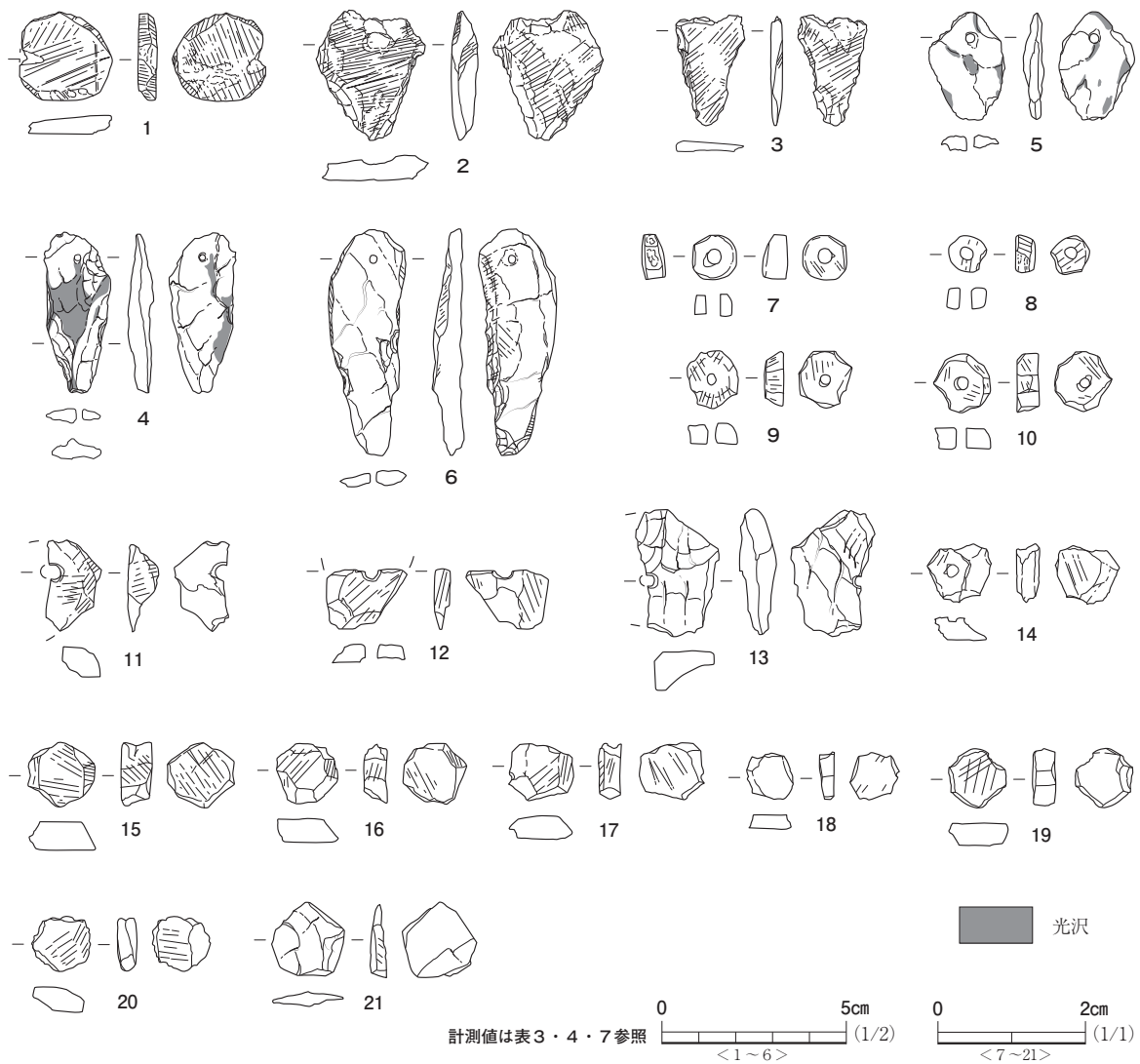


図50 4号流路跡遺物集中域1出土遺物(15)

いる。板状の剥片を素材としており基部に中央には穿孔が1箇所認められる。右側面は、複数回の剥離調整と研磨により部分的に面が形成されている。裏面や側面には、研磨が認められる。

図50-7~21は白玉の未成品である。7・8は側面に研磨が施されるが、一部で縦方向の稜や研磨前のくぼみが明瞭に認められる。9・10は表面の周縁に稜が認められる。側面には、縦方向を基調とする稜が明確に認められる。表裏面は研磨により平坦に整えられるが、側面の研磨はわずかで、整形時の剥離・段差・くぼみなどが顕著に認められる。11~13は穿孔の際に破損したものとみられ、中心の孔を境に破断している。11・12の表面の周縁には稜が認められ、表裏面や側面には、研磨が施されている。13は表裏面に剥離が認められる。14は中央に盲孔が1箇所認められ、深さは約0.5mmである。表裏面は研磨されるが、側面には認められない。15~20は、五角形や六角形など多角形を基調とし、表裏面や側面には研磨が認められる。側面には、研磨より古いくぼみや段差が顕著に認められる。15~17は表面や側面に稜が認められ、断面は不整な台形となる。19の裏面には研磨が認められない。21は、右側面にのみ研磨が認められる。

図51-1～31、図52-1～10は、石製模造品・白玉の製作に関連した未成品を含む剥片・石核・磨石などである。図51-1は、全面に工具の痕跡や研磨が認められる。側面は、剥離調整と研磨により平坦な面が形成されている。裏面の下側縁には、研磨より新しい剥離が認められる。2～19は扁平な剥片を素材とし、研磨や光沢が認められる。2～4の表面には縦方向の稜が認められることから、剣形の未成品の可能性がある。2は稜を境として研磨の方向が異なる。3・4は稜を境として、左には研磨が、右側には剥離調整が認められる。5は節理で剥離した剥片である。上下端部には微細な段差が顕著に認められ、折り取られたものとみられる。6の表面には研磨によって平坦な面が形成され、左右側縁には研磨より古い剥離が認められる。7の表裏面には、研磨より古い剥離が認められる。8は下端に向け鋭く整形している。裏面の研磨は不徹底で、剥離が認められる。9の表裏面には丁寧な研磨が認められる。10・11は不整な楕円形の剥片である。形状から有孔円板の未成品の可能性がある。10は、表面の右下側縁にのみ研磨が認められる。11の表面は節理面で、わずかに研磨が認められる。裏面の左側縁には、連続した剥離が認められる。12は細長い板状の剥片で、裏面の上側縁に研磨が認められる。13の上下両側縁には、研磨より新しい剥離が認められる。14の周縁には微細な剥離が認められる。15の右側面には、研磨により面が形成されている。16は右側面と裏面の中央に研磨が認められる。17は右側面に研磨が認められるが不徹底で、微細な凹凸が認められる。上側面には微細な段差が顕著に認められ、折り取られたものとみられる。18・19の表裏面には、光沢が認められる。19は表面中央に研磨が認められる。

20～31は研磨の認められない剥片である。20は表面の上側縁に、刃物により切断された痕跡が認められる。21の表面は、上下側縁からの剥離が認められる。22は細長の剥片で、裏面の左側縁に連続した剥離が認められる。23は薄い板状の剥片である。24は、左側縁に連続した剥離が認められる。27の表面には、上下側縁に剥離が認められる。28の上側面には、微細な段差が顕著に認められ、折り取られたものとみられる。29の表面には左右側縁からの剥離が認められる。30・31は扁平な1 cm程度の剥片で、白玉の未成品の可能性がある。

図52-1は石核とした。主に上下側縁から剥離を行い、素材剥片を採取している。表面の左側縁には、工具による切断痕が認められる。表面や裏面の中央には、線状痕が認められ、工具による痕跡の可能性がある。2は剥片である。扁平で不整三角形となり、上側面には連続した剥離が認められる。表面には、研磨とは異なる連続した線状痕が認められ、工具による痕跡の可能性がある。3～6は細長く調整された剥片である。形状から白玉の製作工程に関連すると推測される。3は、扁平で左右側縁に剥離が認められる。4は断面形が五角形を基調とした柱状となる。表面にはわずかに研磨が認められ、裏面には自然面が遺存している。5は断面形が四角形を基調とした柱状となる。表裏面の一部と上側面に研磨が認められる。裏面の下側縁には工具による痕跡が認められる。6は扁平な板状で、表裏面の上側縁には剥離より新しい研磨が認められる。7は、扁平で弧状の剥片である。表面の左側縁は、研磨により平坦な面が形成されている。8は小型の剥片で、表裏面の一部に研磨が認められる。9は磨石である。扁平な楕円形の礫を素材とし、側面は剥落が著しい。



図51 4号流路跡遺物集中域1出土遺物 (16)

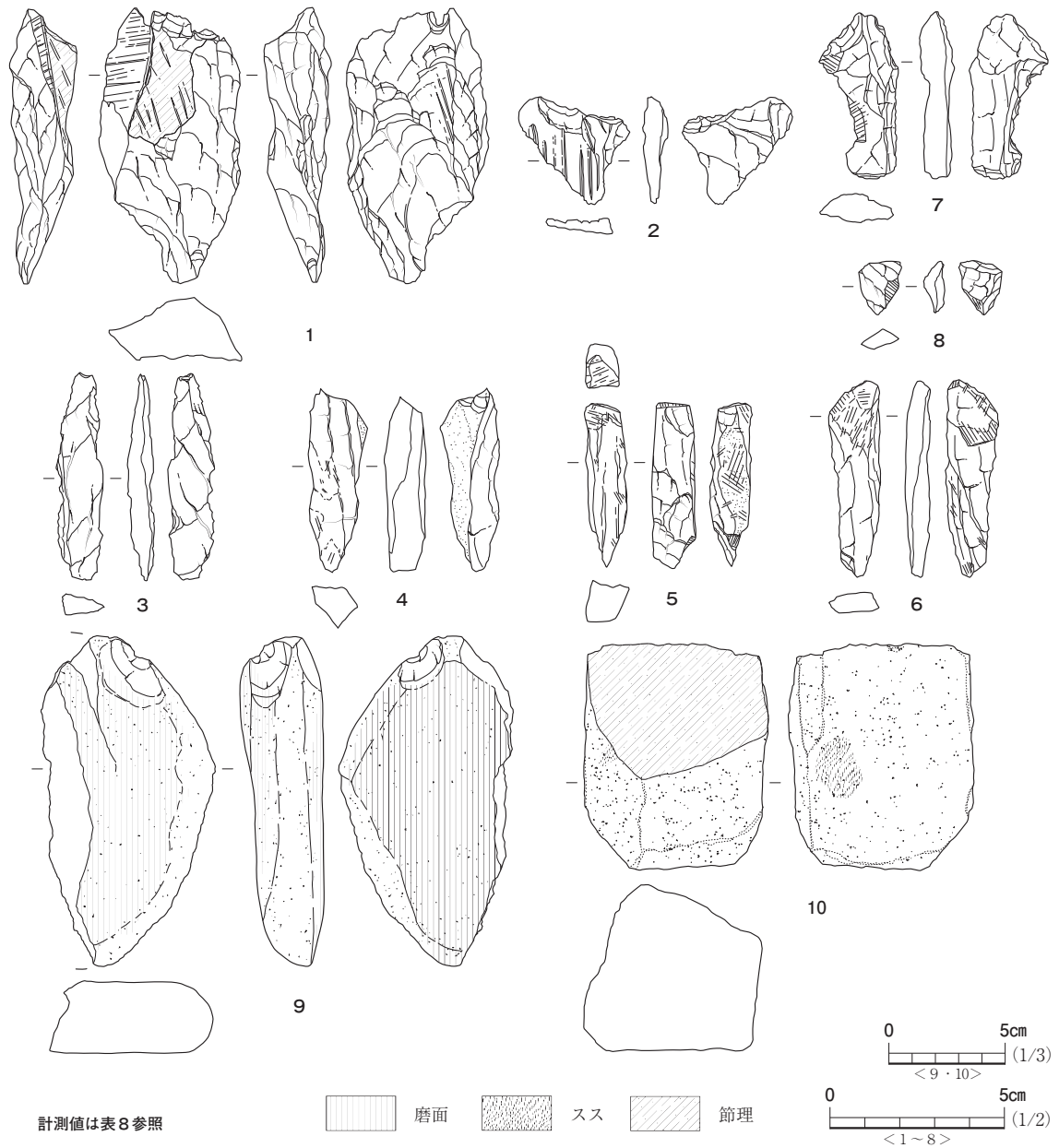


図52 4号流路跡遺物集中域1出土遺物(17)

表裏面には磨面が認められる。表裏面の上側縁には、磨面の形成よりも古い剥離が認められる。10は自然礫である。表面には、節理面が認められる。表裏面の一部にはススが付着している。

図示しなかったが石製模造品の製作に関連したもの(写真80・81参照)は、滑石や蛇紋岩の扁平な剥片が多い。中には、小型の有孔円板や剣形、白玉の素材として利用できそうな長さが約2～4cmの剥片や、1cm台の白玉の素材、もしくはそのまま廃棄されたとみられる剥片が認められる。自然石は阿武隈山地を由来とする花崗岩が主体的で、牛川や太田川の河床から水流により運ばれたか、意図的に廃棄された可能性がある。

遺物集中域2 流路跡北東部の底面付近、 ϕ 5・6中からは多量の土師器片が集積されるように折り重なって出土しており、この範囲を遺物集中域2とした。その範囲は北東2.7m、南西1.2mである。

表2 石製模造品有孔円板観察表(1)

※長幅比:最大幅/最大長×100 穿孔比:穿孔幅/最大幅×100

挿図No.	枝No.	取上No.	出土位置	形態	穿孔		石材	法量(cm)				重さ(g)	穿孔比	長幅比	備考
					左	右		長さ	幅	厚さ	穿孔間の幅				
39	1	150	遺物集中域107	円形	両	両	滑石	4.40	4.75	0.50	3.40	16.8	71.6	92.6	研磨より古い剥離
39	2	127	遺物集中域107	円形	両	両	滑石	3.60	4.00	0.55	2.40	13.0	60.0	90.0	研磨より古いくぼみ
39	3	63	遺物集中域107	円形	-	-	滑石	3.75	3.80	0.40	2.25	11.6	59.2	98.7	研磨より古い剥離
39	4	246	遺物集中域109	円形	両	両	滑石	3.60	3.80	0.55	2.30	10.3	60.5	94.7	
39	5	16	遺物集中域107	円形	両	片	滑石	3.60	3.55	0.40	2.05	8.2	57.7	101.4	研磨より古い剥離
39	6	67	遺物集中域107	円形	片	片	滑石	3.40	3.60	0.40	2.30	9.2	63.9	94.4	研磨より古いくぼみ
39	7	196	遺物集中域107	円形	両	両	滑石	3.35	3.60	0.50	1.95	9.8	54.2	93.1	
39	8	23	遺物集中域107	円形	両	両	滑石	3.40	3.55	0.40	1.95	9.1	54.9	95.8	研磨より古い剥離
39	9	76	遺物集中域107	円形	片	片	滑石	3.50	3.40	0.30	1.95	7.5	57.4	102.9	研磨より新しい剥離
39	10	-	遺物集中域107	円形	片	片	滑石	3.15	3.20	0.30	2.20	7.0	68.8	98.4	
39	11	55	遺物集中域107	円形	片	片	滑石	3.15	3.20	0.40	1.80	6.6	56.3	98.4	研磨より古い剥離
39	12	-	遺物集中域107	円形	片	片	滑石	3.00	3.10	0.40	1.10	6.3	35.5	96.8	
39	13	74	遺物集中域107	円形	両	両	滑石	3.00	3.10	0.40	1.45	6.2	46.8	96.8	研磨より古いくぼみ
39	14	46	遺物集中域107	円形	両	両	滑石	2.80	3.10	0.50	1.35	8.2	43.5	90.3	研磨より古い剥離
39	15	17	遺物集中域107	円形	片	片	滑石	2.80	3.10	0.40	1.80	5.7	58.1	90.3	
39	16	41	遺物集中域107	円形	片	片	滑石	3.00	3.00	0.35	1.55	5.8	51.7	100.0	風化、研磨より古い剥離
39	17	64	遺物集中域107	円形	片	片	滑石	3.05	3.05	0.40	1.55	6.9	50.8	100.0	研磨より古いくぼみ
39	18	-	遺物集中域107	円形	両	両	滑石	2.60	2.90	0.35	2.05	5.2	70.7	89.7	
39	19	144	遺物集中域107	円形	両	両	滑石	2.50	2.90	0.35	1.70	4.7	58.6	86.2	研磨より古い剥離
39	20	179	遺物集中域107	円形	両	両	滑石	2.70	2.90	0.50	1.65	6.1	56.9	93.1	研磨より古い剥離
40	1	105	遺物集中域107	円形	片	片	滑石	2.50	2.80	0.40	1.20	5.6	42.9	89.3	
40	2	212	遺物集中域107	円形	-	片	滑石	2.70	2.80	0.40	1.55	4.7	55.4	96.4	
40	3	-	遺物集中域107	円形	片	両	滑石	2.70	2.70	0.40	1.35	4.6	50.0	100.0	
40	4	-	排土	円形	片	片	滑石	2.60	2.70	0.40	1.55	4.7	57.4	96.3	
40	5	3	遺物集中域107	円形	片	片	滑石	2.65	2.70	0.40	1.50	4.5	55.6	98.1	研磨より古い剥離
40	6	92	遺物集中域107	円形	片	両	滑石	2.60	2.70	0.50	1.35	5.8	50.0	96.3	
40	7	86	遺物集中域107	円形	-	片	滑石	2.65	[2.55]	0.25	1.30	3.4	-	-	盲孔1箇所
40	8	174	遺物集中域107	円形	両	両	滑石	2.60	2.55	0.40	1.05	5.0	41.2	102.0	
40	9	27	遺物集中域107	円形	両	両	滑石	2.50	2.60	0.35	1.50	4.7	57.7	96.2	研磨より古いくぼみ
40	10	2	遺物集中域107	円形	片	片	滑石	2.60	2.55	0.40	1.65	3.4	64.7	102.0	研磨より古いくぼみ
40	11	103	遺物集中域107	円形	-	両	滑石	2.55	(2.40)	0.30	-	2.6	-	-	
40	12	214	遺物集中域107	円形	両	両	滑石	2.35	2.50	0.40	1.40	3.4	56.0	94.0	
40	13	30	遺物集中域107	円形	両	両	滑石	2.30	2.40	0.30	1.15	3.5	47.9	95.8	
40	14	-	遺物集中域107	円形	片	片	滑石	2.20	2.30	0.25	1.10	2.8	47.8	95.7	
40	15	100	遺物集中域107	円形	片	片	滑石	2.20	2.00	0.30	1.25	2.6	62.5	110.0	研磨より古い剥離
40	16	26	遺物集中域107	円形	片	片	滑石	2.10	2.15	0.40	0.80	2.9	37.2	97.7	研磨より古い剥離
40	17	39	遺物集中域107	円形	両	片	滑石	2.55	2.50	0.50	1.25	5.0	50.0	102.0	
40	18	60	遺物集中域107	円形	片	片	滑石	2.30	2.50	0.50	1.10	4.9	44.0	92.0	
40	19	56	遺物集中域107	円形	両	両	滑石	2.40	2.20	0.40	1.45	4.0	65.9	109.1	研磨より古い剥離
40	20	24	遺物集中域107	円形	片	片	滑石	1.95	1.95	0.40	0.95	2.2	48.7	100.0	研磨より新しい剥離
40	21	128	遺物集中域107	円形	両	片	滑石	1.95	2.10	0.45	0.95	2.8	45.2	92.9	研磨より古い剥離
40	22	141	遺物集中域107	円形	-	両	滑石	[2.80]	[2.60]	0.50	1.60	5.6	-	-	研磨より古いくぼみ
40	23	-	排土	円形	両	-	滑石	2.40	[1.70]	0.35	-	2.4	-	-	
40	24	65	遺物集中域107	円形	-	-	滑石	[1.65]	3.10	0.35	-	3.2	-	-	研磨より古いくぼみ
40	25	89	遺物集中域107	円形	-	-	滑石	[1.60]	3.10	0.40	-	3.0	-	-	
41	1	-	遺物集中域107	楕円形	両	両	滑石	3.30	4.55	0.60	3.20	14.4	70.3	72.5	
41	2	171	遺物集中域107	楕円形	両	両	滑石	2.50	4.40	0.45	2.85	8.8	64.8	56.8	盲孔1箇所
41	3	157	遺物集中域107	楕円形	両	両	滑石	2.50	4.25	0.40	2.60	6.2	61.2	58.8	研磨より古いくぼみ
41	4	148	遺物集中域107	楕円形	両	両	滑石	3.30	4.15	0.60	2.75	11.8	66.3	79.5	研磨より古い連続した剥離
41	5	15	遺物集中域107	楕円形	片	片	滑石	3.50	4.00	0.30	2.35	7.6	58.8	87.5	研磨より古い剥離
41	6	102	遺物集中域107	楕円形	片	片	滑石	2.90	3.90	0.30	2.45	7.5	62.8	74.4	研磨より古いくぼみ
41	7	211	遺物集中域107	楕円形	両	片	滑石	2.85	3.80	0.40	2.65	7.7	69.7	75.0	
41	8	131	遺物集中域107	楕円形	片	片	滑石	2.80	3.70	0.40	2.30	7.0	62.2	75.7	研磨より古いくぼみ
41	9	243	遺物集中域107	楕円形	-	両	滑石	2.90	(3.70)	0.40	2.35	8.1	-	-	
41	10	35	遺物集中域107	楕円形	両	両	滑石	2.90	3.60	0.40	2.30	8.6	63.9	80.6	研磨より古い剥離
41	11	138	遺物集中域107	楕円形	両	両	滑石	2.65	3.50	0.50	2.15	7.5	60.6	74.6	

表3 石製模造品有孔円板観察表(2)

※長幅比:最大幅/最大長×100 穿孔比:穿孔幅/最大幅×100

挿図No.	枝No.	取上No.	出土位置	形態	穿孔		石材	法量(cm)				重さ(g)	穿孔比	長幅比	備考
					左	右		長さ	幅	厚さ	穿孔間の幅				
41	12	143	遺物集中域107	楕円形	両	両	滑石	2.80	3.25	0.40	1.80	7.4	55.4	86.2	
41	13	71	遺物集中域107	楕円形	両	両	滑石	2.60	3.20	0.40	1.90	6.5	59.4	81.3	研磨より古い剥離
41	14	-	遺物集中域107	楕円形	片	片	滑石	2.10	3.10	0.35	1.85	4.0	59.7	67.7	研磨を前後する剥離
41	15	5	遺物集中域107	楕円形	片	片	滑石	2.90	3.35	0.50	2.10	7.4	62.7	86.6	研磨より新しい剥離
41	16	43	遺物集中域107	楕円形	片	片	滑石	2.20	3.05	0.30	1.80	4.1	59.0	72.1	研磨より古い剥離
41	17	236	遺物集中域107	楕円形	両	両	滑石	2.35	2.90	0.35	1.45	4.3	50.0	81.0	研磨より古いくぼみ
41	18	108	遺物集中域107	楕円形	両	両	滑石	2.45	2.85	0.50	1.20	4.5	42.1	86.0	研磨より古い剥離
41	19	34	遺物集中域107	楕円形	片	片	滑石	2.40	2.90	0.35	1.75	4.2	60.3	82.8	研磨より古い剥離
41	20	-	遺物集中域107	楕円形	片	両	滑石	2.30	2.85	0.40	1.65	4.9	57.9	80.7	
41	21	-	遺物集中域107	楕円形	片	片	滑石	2.20	2.80	0.50	1.45	5.5	51.8	78.6	
41	22	8	遺物集中域107	楕円形	片	片	滑石	2.20	2.50	0.40	1.30	3.8	52.0	88.0	
41	23	109	遺物集中域107	楕円形	両	両	滑石	2.60	4.20	5.50	2.45	11.2	58.3	61.9	
41	24	72	遺物集中域107	楕円形	片	片	滑石	2.60	3.40	0.40	2.20	7.0	64.7	76.5	研磨より古いくぼみ
41	25	241	遺物集中域109	楕円形	両	両	滑石	2.10	3.00	0.50	1.95	6.4	65.0	70.0	
41	26	136	遺物集中域107	楕円形	両	両	滑石	1.95	2.90	0.50	-	4.7	-	67.2	
42	1	152	遺物集中域107	楕円形	-	片	滑石	[2.90]	[5.00]	0.40	-	7.5	-	-	
42	2	104	遺物集中域107	楕円形	-	片	滑石	2.80	(3.75)	0.40	-	6.0	-	-	
42	3	33	遺物集中域107	楕円形	-	片	滑石	2.30	3.40	0.30	-	4.6	-	67.6	研磨より古いくぼみ
42	4	13	遺物集中域107	楕円形	両	-	滑石	2.80	3.80	0.40	2.10	7.1	55.3	73.7	研磨を前後する剥離
42	5	124	遺物集中域107	楕円形	-	両	滑石	3.00	[3.25]	0.55	2.15	8.7	-	-	研磨より古い剥離・くぼみ
42	6	130	遺物集中域107	楕円形	-	片	滑石	[2.05]	[2.70]	0.50	1.50	3.6	-	-	研磨より古い剥離
42	7	25	遺物集中域107	隅丸方形	片	片	滑石	2.70	3.30	0.50	1.80	7.9	54.5	81.8	工具痕、研磨より古い剥離
42	8	247	遺物集中域107	隅丸方形	片	両	滑石	2.20	2.60	0.40	1.35	4.0	51.9	84.6	
42	9	237	遺物集中域107	隅丸方形	両	両	滑石	2.55	2.80	0.40	1.65	5.7	58.9	91.1	研磨より古いくぼみ
42	10	75	遺物集中域107	隅丸方形	片	片	滑石	2.00	2.45	0.30	1.40	3.0	57.1	81.6	研磨より古い剥離・くぼみ
42	11	126	遺物集中域107	菱形	両	両	滑石	3.10	3.20	0.50	1.50	7.8	46.9	96.9	盲孔1箇所
42	12	107	遺物集中域107	菱形	-	片	滑石	2.10	2.20	0.55	1.10	3.3	50.0	95.5	
42	13	4	遺物集中域107	不整形	両	両	滑石	2.90	2.85	0.40	1.85	6.3	64.9	101.8	
42	14	233	遺物集中域107	不整形	片	両	滑石	2.70	2.85	0.60	1.65	6.7	57.9	94.7	工具痕、研磨より古いくぼみ
42	15	52	遺物集中域107	不整形	両	片	滑石	2.55	3.00	0.45	0.95	6.1	31.7	85.0	工具痕
42	16	-	遺物集中域107	-	-	片	滑石	2.10	3.10	0.35	-	3.7	-	67.7	破断面を再調整
42	17	194	遺物集中域107	円形	-	片	滑石	2.60	[2.40]	0.30	-	2.4	-	-	破断面を再調整
42	18	134	遺物集中域107	円形か	-	-	滑石	[2.40]	[1.60]	0.40	-	2.0	-	-	表面を再調整か
42	19	-	遺物集中域107	-	-	-	滑石	[1.80]	[1.50]	0.20	-	0.6	-	-	薄く割れたものを再調整
42	20	-	遺物集中域107	-	-	-	滑石	[1.10]	[2.20]	0.35	-	1.3	-	-	裏面を再調整
42	21	12・19	遺物集中域107	-	-	片	滑石	[2.00]	[3.20]	0.30	-	2.7	-	-	取上No.12と19が接合
42	22	-	遺物集中域107	-	-	-	滑石	[2.40]	[2.20]	0.45	-	3.4	-	-	
42	23	244	遺物集中域109	-	-	片	滑石	2.40	[1.80]	0.30	-	2.3	-	-	研磨より古いくぼみ
42	24	-	遺物集中域107	-	-	両	蛇紋岩	[2.40]	[2.00]	0.35	-	2.1	-	-	
42	25	147	遺物集中域107	-	-	-	滑石	[1.75]	[3.60]	0.30	-	3.1	-	-	
42	26	-	遺物集中域107	-	-	両	滑石	1.60	2.90	0.35	-	2.1	-	55.2	
42	27	-	遺物集中域107	-	-	両	滑石	1.80	2.90	0.40	-	3.1	-	62.1	
43	1	219	遺物集中域107	-	-	片	滑石	[1.85]	[2.00]	0.40	-	2.0	-	-	
43	2	210	遺物集中域107	-	-	両	滑石	[2.65]	[1.30]	4.50	-	2.2	-	-	
43	3	-	遺物集中域107	-	-	-	滑石	[2.10]	[1.30]	0.25	-	1.3	-	-	研磨より古いくぼみ
43	4	118	遺物集中域107	-	-	両	滑石	[1.30]	[1.40]	0.30	-	0.9	-	-	研磨より古いくぼみ
43	5	-	遺物集中域107	-	-	-	滑石	[0.70]	[1.40]	0.25	-	0.4	-	-	
43	6	-	遺物集中域107	-	-	-	滑石	[0.70]	[1.80]	0.40	-	0.7	-	-	
43	7	161	遺物集中域107	-	-	-	滑石	[0.85]	[0.90]	0.20	-	0.2	-	-	
43	8	119	遺物集中域107	-	-	-	滑石	[1.90]	[1.40]	0.40	-	1.5	-	-	研磨より古い剥離
43	9	-	遺物集中域107	-	-	-	滑石	[1.50]	[1.65]	0.40	-	1.3	-	-	
43	10	-	遺物集中域107	-	-	-	滑石	[2.90]	[0.85]	0.30	-	1.2	-	-	
43	11	54	遺物集中域107	-	-	-	滑石	[1.10]	[1.50]	0.20	-	0.4	-	-	研磨より古い剥離
43	12	29	遺物集中域107	-	-	-	滑石	[1.70]	[1.00]	0.25	-	0.5	-	-	
43	13	190	遺物集中域107	-	-	-	滑石	[1.50]	[0.70]	0.40	-	0.5	-	-	
50	1	123	遺物集中域107	円形	-	-	滑石	2.40	2.50	0.50	-	4.9	-	96.0	穿孔なし、未成品

表4 石製模造品剣形観察表

挿図No.	枝No.	取上No.	出土位置	基部	鑄	穿孔		石材	法量 (cm)			重量 (g)	備考
						上	下		長さ	幅	厚さ		
44	1	95	遺物集中域107	湾曲	Y	片	-	滑石	5.30	2.60	0.60	12.5	研磨より新しい剥離
44	2	40	遺物集中域107	湾曲	Y	片	-	滑石	4.10	2.80	0.40	6.3	研磨より古い剥離
44	3	232	遺物集中域107	湾曲	Y	両(左)	両(右)	滑石	4.50	2.50	0.70	9.3	
44	4	93	遺物集中域107	台形	Y	片	片	滑石	5.75	2.10	0.75	9.4	
44	5	70	遺物集中域107	台形	Y	片	-	滑石	4.70	2.00	0.60	6.0	
44	6	90	遺物集中域107	台形	Y	両	-	滑石	4.60	2.00	0.70	6.5	研磨より新しい連続した剥離
44	7	239	遺物集中域109	台形	Y	両	-	滑石	3.60	1.95	0.60	4.2	
44	8	37	遺物集中域107	台形	I	両	-	滑石	4.30	2.10	0.60	6.0	表面工具痕
44	9	1	遺物集中域107	台形	菱	片	-	滑石	6.80	2.30	0.70	14.4	
44	10	151	遺物集中域107	台形	無	両	両	滑石	5.40	2.30	0.60	10.9	
44	11	-	遺物集中域107	湾曲	無	片	両	滑石	5.50	2.50	0.60	11.4	
44	12	57	遺物集中域107	湾曲	無	片	片	滑石	4.90	2.90	0.50	9.8	盲孔1箇所、研磨を前後する剥離
44	13	116	遺物集中域107	湾曲	無	両	両	滑石	4.55	2.35	0.55	10.0	盲孔2箇所
44	14	242	遺物集中域107	台形	無	両	片	滑石	3.50	1.60	0.55	3.3	
44	15	-	遺物集中域107	台形	無	片	片	滑石	2.60	2.00	0.40	3.3	
44	16	158	遺物集中域107	湾曲	無	片	-	滑石	[3.10]	2.00	0.50	5.2	研磨より古い剥離
44	17	9	遺物集中域107	湾曲	無	片	-	滑石	[3.60]	[2.50]	0.50	4.9	有孔円板の可能性あり
44	18	-	遺物集中域107	-	無	片	-	滑石	2.50	1.65	0.60	3.2	
44	19	-	遺物集中域107	-	無	片	-	滑石	[1.20]	[1.10]	0.30	0.4	
44	20	-	遺物集中域107	-	有か	片	-	滑石	[1.40]	[2.10]	0.40	1.3	
50	2	78	遺物集中域107	-	無	-	-	滑石	3.50	2.95	0.70	8.0	未成品
50	3	140	遺物集中域107	-	無	-	-	滑石	3.00	1.90	0.30	2.0	未成品
50	4	248	遺物集中域109	-	無	両	-	滑石	4.35	1.80	0.70	5.0	未成品・光沢
50	5	191	遺物集中域107	-	無	両	-	滑石	2.95	2.05	0.55	3.2	未成品・光沢
50	6	62	遺物集中域107	-	無	両	-	滑石	6.10	2.10	0.50	10.3	未成品

出土状況から、流路の中でも比較的浅く、水の影響が少ない乾いた平坦な面に土師器を集積している様子がうかがえる。図53-1・2・7の土師器の杯は入れ子状に出土しており、重なるの順序は、上から1・7・2である。図53-10の土師器の壺は正位で置かれるように出土している。土師器の組成は杯9点、鉢3点、壺1点、円窓付土器1点、甕14点、甑3点となり、甕が多い傾向にある。

図53~56は遺物集中域2から出土した遺物である。図53-1~8は土師器の杯である。1~5は丸底で、体部中ほどから外反する。体部内面の中ほどには、明瞭な稜が認められる。外面の体部上半はヨコナデ、内面はヘラミガキが施されている。内外面には、赤彩が施されている。1は体部下半から底部の外面に、ヘラケズリが施されている。2は外面にヘラミガキが施されている。3~5の体部下半から底面の外面には、ヘラケズリの後、ヘラミガキが施されている。4は底部の外面に赤彩が認められず、塗分けとみられる。5の底部外面には、ヘラ状工具による3条の線刻が認められる。6は深身の丸底で、体部から口縁部に向かい外傾する。体部内面の中ほどには、稜が認められる。外面にはヘラケズリとヘラミガキ、内面にはヘラミガキが施されている。内外面の器壁は、斑状に剥落している。7は厚手の丸底で、口縁部付近でわずかに外傾している。口縁部の内外面にはヨコナデが施されている。体部下半から底部の外面にはヘラケズリが、底部の内面には、ヘラナデが施されている。8は平底で、体部中ほどから外反する。体部内面の中ほどには、明瞭な稜が認められる。口縁部の内外面にはヨコナデの後、ユビナデが施されている。体部外面には、成形時に

表5 白玉観察表(1)

挿図 No.	枝 No.	取上 No.	出土位置	分類	研磨	石材	法量(cm)		重さ (g)	備考	挿図 No.	枝 No.	取上 No.	出土位置	分類	研磨	石材	法量(cm)		重さ (g)	備考
							最大径	側面長										最大径	側面長		
46	1	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.50	0.52	0.200		46	56	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.45	0.30	0.055	
46	2	226	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.50	0.140		46	57	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.30	0.063	
46	3	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.50	0.50	0.153		46	58	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.30	0.079	
46	4	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.45	0.50	0.129	くほみ	46	59	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.30	0.069	
46	5	228	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.45	0.50	0.127		46	60	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.30	0.080	
46	6	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.45	0.50	0.166		46	61	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.45	0.25	0.055	
46	7	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.45	0.40	0.130		46	62	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.30	0.065	
46	8	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.45	0.50	0.126		46	63	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.50	0.30	0.095	
46	9	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.50	0.40	0.143		46	64	-	遺物集中域1 07	I a	斜	蛇紋岩	0.50	0.30	0.078	
46	10	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.45	0.101		46	65	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.30	0.070	
46	11	112	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.45	0.40	0.096		46	66	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.30	0.063	
46	12	133	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.50	0.40	0.141		46	67	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.30	0.057	
46	13	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.50	0.45	0.137		46	68	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.45	0.30	0.055	
46	14	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.40	0.086		46	69	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.50	0.25	0.060	
46	15	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.45	0.35	0.109		46	70	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.35	0.30	0.044	
46	16	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.35	0.087		46	71	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.40	0.067	
46	17	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.30	0.053		46	72	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.45	0.25	0.055	
46	18	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.45	0.40	0.104		46	73	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.30	0.061	
46	19	182	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.40	0.096		46	74	81	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.30	0.072	
46	20	-	排土	I a	斜	滑石	0.40	0.40	0.119		46	75	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.30	0.079	
46	21	202	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.50	0.40	0.108		46	76	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.30	0.051	
46	22	50	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.50	0.50	0.161		46	77	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.30	0.046	
46	23	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.30	0.078		46	78	-	遺物集中域1 07	I a	縦	滑石	0.40	0.50	0.060	
46	24	184	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.40	0.102		46	79	221	遺物集中域1 07	I a	縦	滑石	0.40	0.40	0.170	
46	25	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.40	0.082		46	80	176	遺物集中域1 07	I a	縦	滑石	0.45	0.30	0.127	
46	26	206	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.45	0.30	0.092		46	81	220	遺物集中域1 07	I a	縦	滑石	0.50	0.40	0.120	
46	27	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.50	0.101		46	82	-	遺物集中域1 07	I a	縦	滑石	0.50	0.30	0.128	
46	28	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.40	0.099		46	83	-	遺物集中域1 07	I a	縦	滑石	0.40	0.30	0.066	
46	29	227	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.50	0.35	0.086		46	84	-	遺物集中域1 07	I a	縦	滑石	0.50	0.40	0.112	
46	30	193	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.40	0.106	くほみ	46	85	-	遺物集中域1 07	I a	縦	滑石	0.40	0.30	0.063	
46	31	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.30	0.075		46	86	183	遺物集中域1 07	I a	縦	滑石	0.40	0.25	0.058	
46	32	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.50	0.30	0.131		46	87	-	遺物集中域1 07	I a	縦	滑石	0.40	0.30	0.069	
46	33	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.50	0.30	0.103		46	88	-	遺物集中域1 07	I a	縦	滑石	0.40	0.30	0.058	
46	34	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.30	0.087		46	89	-	遺物集中域1 07	I a	縦	滑石	0.40	0.30	0.081	
46	35	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.30	0.065		47	1	208	遺物集中域1 07	I a	無	滑石	0.40	0.40	0.093	
46	36	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.30	0.119		47	2	-	遺物集中域1 07	I a	無	滑石	0.40	0.40	0.111	
46	37	200	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.45	0.35	0.078		47	3	-	遺物集中域1 07	I a	無	滑石	0.50	0.40	0.098	
46	38	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.45	0.40	0.073		47	4	-	遺物集中域1 07	I a	無	滑石	0.40	0.35	0.089	
46	39	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.30	0.079		47	5	-	遺物集中域1 07	I a	無	滑石	0.40	0.35	0.072	
46	40	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.45	0.35	0.078		47	6	-	遺物集中域1 07	I a	無	滑石	0.40	0.30	0.072	
46	41	132	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.50	0.40	0.106		47	7	-	遺物集中域1 07	I a	無	滑石	0.40	0.30	0.073	
46	42	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.45	0.30	0.063		47	8	-	遺物集中域1 07	I a	無	滑石	0.40	0.25	0.072	
46	43	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.30	0.056		47	9	-	遺物集中域1 07	I a	無	滑石	0.40	0.35	0.074	
46	44	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.30	0.087		47	10	-	遺物集中域1 07	I a	無	滑石	0.40	0.30	0.074	
46	45	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.50	0.30	0.093		47	11	-	遺物集中域1 07	I a	無	滑石	0.40	0.30	0.071	
46	46	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.30	0.40	0.065		47	12	-	遺物集中域1 07	I a	無	滑石	0.40	0.30	0.105	
46	47	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.45	0.30	0.078		47	13	-	遺物集中域1 07	I a	無	滑石	0.40	0.30	0.066	
46	48	-	排土	I a	斜	滑石	0.40	0.35	0.106		47	14	-	遺物集中域1 07	I a	無	滑石	0.45	0.30	0.065	
46	49	189	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.30	0.069		47	15	-	遺物集中域1 07	I a	無	滑石	0.40	0.30	0.066	
46	50	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.40	0.057		47	16	-	遺物集中域1 07	I a	無	滑石	0.50	0.30	0.118	
46	51	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.30	0.050		47	17	-	遺物集中域1 07	I a	無	滑石	0.45	0.40	0.077	
46	52	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.30	0.073		47	18	-	遺物集中域1 07	I b	斜	滑石	0.60	0.40	0.215	
46	53	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.45	0.25	0.073		47	19	-	遺物集中域1 07	I b	斜	滑石	0.45	0.35	0.148	
46	54	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.25	0.066		47	20	110	遺物集中域1 07	I b	斜	滑石	0.40	0.30	0.105	
46	55	-	遺物集中域1 07	I a	斜	滑石	0.40	0.30	0.064		47	21	153	遺物集中域1 07	I b	斜	滑石	0.40	0.40	0.135	